



インターナショナル・ワークショップ

	第1実習室 講師：パメラ・ピエトロ	第2実習室 講師：ジェシ・ザリット	第6実習室 講師：エリザベス・コルベット	第3実習室 講師：エイコ尾竹
10:30 - 12:15	①コンテンポラリーⅠ	④コンテンポラリーⅢ	⑤バレエ中級	
13:45 - 15:30	②ボディワーク			
13:45 - 16:45		⑥パフォーマンス実践のための 即興・創作	⑦フォーサイス・ムーブメント・ スタディズ	⑧デリシャス・ムーブメント
15:45 - 17:30	③コンテンポラリーⅡ			
8月23日[月]、25日[水]～28日[土]、30日[月]～9月3日[金] 計10回 *8月24日[火]休講				8月23日[月]、25日～28日[土] 計5回 *8月24日[火]休講

講師およびクラス紹介

ジェシ・ザリット Jesse Zaritt
2008年アメリカ ホリンス大学、アメリカン・ダンス・フェスティバル(ADF)で大学院コース修了。2001年から2006年まで中国オリンピック開会式の振付家、シェン・ウエイのダンス・アート、2008年イスラエルのインバル・ピントのダンスカンパニーでダンサーとして活躍後独立。現在フリーのダンサー・振付家。2008年よりADF講師。

コンテンポラリーⅢ 即興をベースにしたウォームアップで身体感覚を掴むことから始めます。各自がニュートラルなポジションを持つことを大切に、緊張と弛緩を巧みに使い分け、ダンスムーブメントを発展させていきます。

パフォーマンス実践のための即興・創作 即興を手段として動きを生み出し、ソロの動きを積み上げていき、作品発表のために必要なことは何かを考え、グループで一緒に即興し、グループあるいはソロのパフォーマンスに仕上げてゆきます。9月3日の「トライアルステージ」公演にて成果発表を行います。

パメラ・ピエトロ Pamela Pietro
MFA取得。ダンサーとして多くの作品に出演。マンハッタンダンス・ニュー・アムステルダム(DNA)やダンス・スペース・プロジェクトに振付を提供。ダンス解剖学の権威として有名なアイリーン・ダウ女史のアシスタントを務め、自身も公認パーソナル・トレーナー、ピラティス・インストラクターの資格を持つ。現在ニューヨーク大学ティッシュ・スクール(舞踊学部)准教授。1997年よりADF講師。

コンテンポラリーⅠ(初級)・コンテンポラリーⅡ(中級) 解剖学的知識と身体のライメントの原理に基づき、身体の動きを分析的、合理的かつ正しい身体の使い方を体得、身体を解放しダイナミックに動くことを目指します。ダンサーとして身体、精神面の意識を広げ、充実したダンステクニックができるようになります。

ボディワーク Bodyworkは、ダンサーに必要なムーブメントの学習です。解剖生理学者として有名なアイリーン・ダウ女史の運動学原理に基づいたエクササイズで、特にダンサーの日常のコンディショニングに最適です。

D. 講師による特別セミナー 一般参加可能 *ワークショップ受講生無料、一般参加者 1,000円、予約不要、当日受付にて料金をお支払いください。 **南棟 4階 S-404教室**

- エイコ尾竹セミナー「アーティストと大学～レトロスペクティブ・プロジェクトの制作～」 8月28日[土] 10:30～12:30
エイコ&コマの活動の歴史を振り返るとともに、これからの展望を模索するために2009年に開始された「レトロスペクティブ・プロジェクト」。
- エリザベス・コルベットセミナー「Working with William Forsythe～フォーサイスのダンスを語る」 8月30日[月] 18:00～20:00
ウィリアム・フォーサイスの映像を見ながらフォーサイス振付の極意を分析します。

今年で77年の歴史を誇るアメリカのダンスフェスティバルの老舗、アメリカン・ダンス・フェスティバル(ADF)から一番人気の講師陣を迎えたワークショップ。解剖学的なアプローチによって動くからだの可能性を追求するパメラ・ピエトロ、即興によりイメージの世界をからだで感じ、からだに起こったことをダンス・ムーブメントに移行させるジェシ・ザリット。エイコの独特な指導は、こころとからだの調和を味わう楽しさを与えてくれるでしょう。そして、元フォーサイス・カンパニーのプリシパル・ダンサー、エリザベス・コルベットは、フォーサイスの動きと思考をいかに自分らしく表現できるかということに焦点を当てます。

A. テクニッククラス (1h45min/クラス)

- ①コンテンポラリーⅠ 初級 講師:パメラ・ピエトロ
- ②ボディワーク 講師:パメラ・ピエトロ
- ③コンテンポラリーⅡ 中級 講師:パメラ・ピエトロ
- ④コンテンポラリーⅢ 講師:ジェシ・ザリット
- ⑤バレエ中級 講師:エリザベス・コルベット

B. プロジェクトクラス (3h/クラス)

- 9月3日[金]に「トライアルステージ」にて発表公演あり
- ⑥パフォーマンス実践のための即興・創作 講師:ジェシ・ザリット
 - ⑦フォーサイス・ムーブメント・スタディズ 講師:エリザベス・コルベット

C. スペシャルクラス (3h/クラス)

- 8月23日[月]、8月25日[水]～28日[土]の5日間のみ
- ⑧デリシャス・ムーブメント 講師:エイコ尾竹

会場 **北棟** 第1/第2/第3/第6実習室

【受講料】
A. テクニッククラス
 25,000円/1日1クラス 計10クラス 10日間通し受講
 40,000円/1日2クラス 計20クラス 10日間通し受講
 54,000円/1日3クラス 計30クラス 10日間通し受講
 3,500円/1クラス単独受講 (通して受講できる方に限ります。)
B. プロジェクトクラス
 32,000円/計10クラス 10日間通し受講
C. スペシャルクラス (基本的に通して受講できる方を対象とします。)
 16,000円/計5クラス 5日間通し受講

【申し込み先】
 ADF東京事務局 (株)アングリエイティブ内
 E-mail office@ancreative.net

【申し込み方法】
 1. 「ご希望のクラス名」、「受講日(単独受講の場合)」、「お名前」、「ご住所」、「ご連絡先」をご記入の上、office@ancreative.net にメールをお送りください。
 2. メール到着後お振込みに関するメールを返信いたします。
 3. 郵便振替にてご案内した金額を1週間以内にお振込みください。

【郵便振替振込先】
 口座番号 00140-2-560150
 加入者名 株式会社アングリエイティブ

【キャンセルについて】
 8月16日以降のキャンセルに関しましては返金致しかねますのでご了承ください。



8つのアート1つのハート



Performance

公演 **北棟** 中ホール

FROM 江古田

日藝から羽ばたいた舞踊家たち
 8月27日[金]・28日[土]

SINCE 1975

ポストモダン世代の舞踊家たち
 8月31日[火]・9月1日[水]

トライアルステージ

9月3日[金] 19:00



主催:ADF東京実行委員会
 共催:日本大学芸術学部演劇学科
 助成:東京都芸術文化発信事業助成財団法人全国税理士共栄会文化財団

EKODA de DANCE 2010

エコダ・デ・ダンス

日本大学芸術学部
 江古田キャンパス新設記念
 2010年8月23日[月]～9月3日[金]

Workshop

インターナショナル・ワークショップ

北棟 第1/第2/第3/第6実習室

A. テクニッククラス

8月23日[月]～9月3日[金]

B. プロジェクトクラス

8月23日[月]～9月3日[金]

C. スペシャルクラス

8月23日[月]～28日[土]

D. ワークショップ特別セミナー

8月28日[土] 10:30～12:30
 8月30日[月] 18:00～20:00

【公演に関するお問合せ】 ADF 東京事務局 (株)アングリエイティブ内
 150-0031 東京都渋谷区桜丘町 29-24-510
 TEL.03-5458-0548 (平日11:00-18:00) office@ancreative.net
 会期中の連絡先 TEL.03-5995-8366 (10:00-19:00) *8月24日[火]を除く
 ADF東京実行委員会 実行委員長 = 若松美黄 実行委員 = 石井達朗、榎本了亮、國吉和子、山野博大 (50音順) 運営委員 = 加藤みや子、永利真弓、前田圭蔵、盛裕花、米井澄江
 制作 = アングリエイティブ 制作協力 = レイヨンヴェール

http://www.ancreative.net/

その他、ラウンドテーブル会議「開かれた大学」、上映会「ポストモダンダンス」など開催予定。最新情報はウェブサイトをご覧ください。

Seminar

江古田ダンスゼミ

南棟 S-404教室
北棟 第6実習室(榎本ゼミのみ)

榎本了亮ゼミ 8月23日[月]

國吉和子ゼミ 8月25日[水]

石井達朗ゼミ 8月26日[木]

加藤みや子ゼミ 8月28日[土]

前田圭蔵ゼミ 8月31日[火]

山野博大ゼミ 9月1日[水]

若松美黄ゼミ 9月3日[金]

20世紀のダンスを牽引してきたアメリカはすごかった!(と、すこし過去形で語ってしまうけど)戦前からのモダンダンスから、70年代に起こるポストモダンダンスにいたる、ワンダー&サプライズ!アメリカはダンスで揺れていた!でも、若い世代はこの事実を体験していない!バレエ、コンテンポラリーダンス、舞踏、演劇まで、領域を越えて影響を及ぼし、パフォーマンスの世界を変革し、提案し続けたアメリカのダンスを、ここEKODAで、再発見、再体験しよう!

プログラム1は、同時代的にアメリカで、ポストモダンダンスの創成にかかわった作家たちや、アメリカン・ダンス・フェスティバル(ADF)に参加し、国際的なステージに飛翔したダンサー、グループの公演。プログラム2は、ADFの講師陣による実践的な「インターナショナル・ワークショップ」。プログラム3は、日本のダンス界を牽引する識者による「江古田ダンスゼミ」。日本のダンスの原点に出会う10日間。「EKODA de DANCE 2010」は、日本大学芸術学部の全面的な協力のもと、本年リニューアルされた江古田キャンパスで開催します。249席の劇場、本格的な映像ルーム、大講堂、撮影スタジオ、リハーサルスタジオ等、未来を担うアーティストやクリエイターの育成機能をフルに使った、必見のダンスプロジェクトです。

Performance

公演

本年新設された日本大学藝術学部江古田キャンパス 中ホールをメイン会場として、舞踊の歴史と現在を実感できる舞台公演を開催します。アメリカ、日本、アジアの優れた舞踊作品をご紹介します。

会場 **北棟** 中ホール



【チケット取り扱い】
 ■ e+ (イープラス)
<http://eplus.jp/z> (PC、携帯共通)
 ■ カンフェティチケットセンター
 TEL.0120-240-540 (受付時間: 平日10:00~18:00)
 ■ JCDN ダンスリザーブ
<http://dance.jcdn.org>
 ■ アンクリエイティブ
 ・オンラインチケットサービス
<http://www.ancreative.net>
 予約後すぐにお近くのセブン-イレブンでチケットを受け取れます。
 代金はチケット受け取りの際にセブン-イレブンでお支払いいただきます(発券手数料がかかります)。
 予約の際にカンフェティへの会員登録が必要となります。
 ・電話予約
 TEL.03-5458-0548 (平日11:00-18:00)
 ・QRコード



【チケット発売日】2010年7月5日[月]

【テクニカルスタッフ】
 照明: 丸山武彦 音響: 石井浩美
 舞台監督: 松壽耕治、酒井詠理佳

FROM 江古田 日藝から羽ばたいた舞踊家たち

8月27日[金] 19:00 8月28日[土] 18:00 開場は開演の30分前

多くの芸術家を輩出した日本大学藝術学部。現在舞踊界の第1線で活躍する舞踊家を紹介します。

【チケット料金】全席自由 前売3,000円/当日3,500円 整理番号つき

<p>市原昭仁 (山海塾) <i>Akihito Ichihara</i></p> <p>『L/R』 音楽: 吉川洋一郎 衣装: 飯塚昌代</p>	<p>©森孝介</p>	<p>海田勝、蟬丸らに師事。1997年、天見牛大主宰の山海塾に参加。以後同グループ舞踏手として各国で踊る。現在は山海塾の全作品に出演。代表作「金柑少年」ではソロを担当。老若男女一般対象に舞踏ワークショップを多数行う。2006年より加藤みや子ダンススペースの活動に一部参加。 山海塾公式HP http://sankaijuku.com</p>
<p>舘形比呂一 <i>Hirokazu Tategata</i></p> <p>『MORIO』 構成・演出: 木村和男 振付: 港ゆりか 音楽: HIROSHI WATANABE 美術/アートワーク: 牧かほり 美術・映像: 南志保 ヘアメイク: 佐々木純子</p>	<p>©滝井高夫</p>	<p>名倉加代子氏に師事。ニューヨークに舞踊留学後、ジャンルを問わず数々の舞台に出演。1994年より「THE CONVOY SHOW」に参加。1998年より、内在する自身の世界観を模索する実験的作品シリーズ「TRYOUT」を開始。又、「ハムレット」では、振付を手掛け、その独創的な発想に高い評価を得た。昨年、一昨年と横浜トリエンナーレ大野一雄フェスティバルに招聘される。本年6月にはTRYOUT「YODAKA-水たまりの中の星-」を発表。一方ストレートプレイでの主演や、つかこうへい氏演出「幕末純情伝」「飛龍伝」への出演など、活躍の場を広げている。</p>
<p>珍しいキノコ舞踊団 <i>Strange Kinoko Dance Co.</i></p> <p>『音楽と。』 振付・構成・演出: 伊藤千枝 出演: 山田郷美 篠崎芽美 茶木真由美 梶原未由 他</p>	<p>©片岡晴太</p>	<p>1990年結成。様々な空間で立ち上がるダンスを観客とともに体験し、それぞれの場所、それぞれの身体がもっているダンスを探り、楽しむことを主題としている。美術館の中庭、ギャラリー、カフェ、オフィス、倉庫、ビルのエントランスなど、特異な空間での作品上演も多く、海外公演も積極的にやっている。 http://www.strangekinoko.com/</p>

SINCE 1975 ポストモダン世代の舞踊家たち

8月31日[火] 19:00 9月1日[水] 19:00 開場は開演の30分前

故市川雅氏が1975年に企画した「DANCE TODAY75」。海外の優れたモダンダンスを紹介したこの公演は当時の日本のダンス界に衝撃を与え、その後の発展に大きく貢献しました。その当時を知る舞踊家に焦点を当てポストモダンの歴史を振り返ります。また現在アメリカで活躍するアーティストの作品も上演し、ダンスの未来を考察します。

【チケット料金】全席自由 前売3,000円/当日3,500円 整理番号つき

<p>厚木凡人 <i>Bonjin Atsugi</i></p> <p>『まどろみ』 振付・出演: 厚木凡人 音楽: 近藤譲</p>		<p>1950年代よりモダンダンサーとして活躍し、1966年から1968年までジュリアード音楽院にフルプライド留学し、またメトロポリタンオペラバレエ、アメリカンバレエセンターで学ぶ。'70年代は多数の振付作品を創り、ポストモダンダンス運動の最先端を走る。1975年フェスティバル・ドートンヌに招待され「裂記号2」を上演、Three Mention賞を受賞。1982年アメリカン・ダンス・フェスティバル、ザグレブ現代舞踊祭に招聘される。1989年から1993年までスターダンサーズバレエ団の芸術監督に就任。ポストモダニズムのアクセントのついた作品は当時の舞踊界に衝撃を与えた。現在BONJIN DANCE COMPANY主宰。</p>
<p>黒沢美香 <i>Mika Kurosawa</i></p> <p>『クロソフスキー／アクタイオンの水浴を覗くディアーナ』(2000初演) 振付・出演: 黒沢美香 衣装: 堂本教子</p>	<p>©天久保由利子</p>	<p>横浜生まれ。1962年舞踊家の両親(黒沢輝夫、下田栄子)のもとでモダンダンスを習う。1982年から1985年までNYに滞在。当時のNYダウントウン・ダンスシーンをリードする振付家の作品を踊り、国内外の公演に参加する傍ら、ジャドソン・グループの出来事に出会い、その痕跡を追いかける。帰国後は一人でも「黒沢美香&ダンサーズ」と名乗り即興に明け暮れる。1999年遅咲きのソロデビュー「薔薇の人」シリーズ開始。「風間るり子」と「小石川道子」の別名でも踊る。舞踊コンクールで1位を5度受賞の他、新人賞、優秀賞、舞踊批評家協会賞、日本ダンスフォーラム賞など受賞。</p>
<p>加藤みや子 <i>Miyako Katoh</i></p> <p>『あらべすく』(1979初演) 振付: 加藤みや子 美術: 畦地拓治 出演: 片岡通人、神雄二、松元日奈子、むらやまマサコ (31日)、細川真実子 (1日)</p>	<p>©阿波根治</p>	<p>加藤みや子ダンススペース主宰。幼少より森嘉子、16歳より藤井公・利子に師事。1978年文化庁芸術家在外研修員(米、仏)より帰国後独立。1982年アメリカン・ダンス・フェスティバル、ジェイコブスピロウダンスフェスティバル等に厚木凡人、大脇聡庵等と招聘され巡回公演を行う。ポストモダンダンスに出逢い体内に沈殿していたダンス言語が開化し、さらに自由に変わっていった。また内外の舞踊団公演、ソロ公演と平行し、1989年より他ジャンルのアーティストとのコラボレーション企画や、「ダンス=人間史」、「HOT HEAD WORKS」を展開中。ニムラ舞踊賞、江口隆哉賞、舞踊批評家協会賞、他受賞。</p>
<p>ジェシ・ザリット <i>Jesse Zaritt</i></p> <p>『BINDING』より抜粋 創作・出演: Jesse Zaritt 監督: Basmat Hazan</p>	<p>©Brian Young</p>	<p>2008年アメリカ ホリズ大学、アメリカン・ダンス・フェスティバル(ADF)で大学院コース修了。2001年から2006年まで中国オリンピック開会式の振付家、シェン・ウェイのダンス・アート、2008年イスラエルのインバル・ピントのダンスカンパニーでダンサーとして活躍後独立。現在フリーのダンサー・振付家。2008年よりADFで講師を務める。</p>

トライアルステージ

国際共同制作のダンス作品を紹介します。エリザベス・コルベットとジェシ・ザリットの指導による2週間にわたるワークショップによるショーイング2作品と、島崎徹振付の台湾の舞踊団 Dance Forum Taipeiの「Grace」。

9月3日[金] 19:00 開場は開演の30分前

【チケット料金】全席自由 前売2,000円/当日2,500円 整理番号つき

<p>クリエーションによる2作品 監修: エリザベス・コルベット、ジェシ・ザリット 出演: ワークショップ受講者</p>	<p>©Dance Forum Taipei</p>
<p>日台共同制作作品『Grace』 振付: 島崎徹 出演: ダンス・フォーラム・タイペイ (Dance Forum Taipei)</p>	

江古田 ダンスゼミ

アメリカン・モダンダンスを中心に、舞踊表現の歴史と未来を考察するゼミを開催します。

Seminar

会場

南棟4階 S-404教室

榎本了壹ゼミ 北棟3階 第6実習室

【参加費】1ゼミ1,000円 予約不要、当日受付にて料金をお支払いください。

<p>榎本了壹ゼミ 「拘束の肉体、あるいは、見えないダンス」</p>	<p>8月23日[月] 19:00~20:30</p>
<p>肉体は、ダンスに拘束されている。振付に、音楽に、衣装に、照明に、拘束されている。私達には本当に、ダンスが見えているのか。緊縛することで、暗転することで、ダンスも肉体も消滅する。超絶のダンス解体論。 ゲスト: 山口椿 (作家・音楽家・画家) / 木野彩子</p>	
<p>國吉和子ゼミ 「舞踏とポストモダン」</p>	<p>8月25日[水] 19:00~20:30</p>
<p>舞踏は日本のポスト・モダンダンス? 1960年代ニューヨークと東京で、ほとんど同時に登場した新しいダンスについて考える講座です。どちらも美術家や音楽家との共同作業をとおして、展開した表現でした。</p>	
<p>石井達朗ゼミ 「儀礼とトランス」</p>	<p>8月26日[木] 19:00~20:30</p>
<p>バリ島の村々で行われるオダラン(寺院祭)のなかで、日常的な意識の空白状態であるトランスが起こります。それが生起する儀礼の構造を考えながら、身体で表現することの原点をめぐり考えたいと思います。</p>	
<p>加藤みや子ゼミ 「アンナ・ハルプリンとその影響」</p>	<p>8月28日[土] 16:00~17:30 <small>*14:00-15:30同会場にて「ポストモダンダンス&アンナ・ハルプリン」上映(無料)</small></p>
<p>NY、ジャドソンチャーチのポストモダンダンスの始動は、サンフランシスコのタマルプ山でのアンナ・ハルプリンのワークショップにあった。90歳を過ぎ、ヌーディな映像、風雅なダンスで話題となる彼女が反逆し続けたものは? ゲストと共に辿る。 ゲスト: 武藤大祐 (舞踊評論家) / エイコ</p>	
<p>前田圭蔵ゼミ 「メレディス・モンクを巡って」</p>	<p>8月31日[火] 17:00~18:30</p>
<p>演出家兼振付家兼パフォーマー兼ピアニスト兼歌手兼作曲家である現代アメリカを代表するアーティスト、メレディス・モンクを巡る講義。メレディスの日本公演制作に携わり、個人的にも親しい講師が、1960年代から独特なアプローチで身体、声といったテーマを希求し続ける彼女の多彩な活動を、貴重な作品映像を見せながら辿ります。</p>	
<p>山野博大ゼミ 「20世紀末のダンス 市川雅回顧」</p>	<p>9月1日[水] 17:00~18:30</p>
<p>彼の書く学際的な舞踊評論は、舞踊以外の分野で読まれ、舞踊への関心を高めた。日本の舞踊の国際化を提唱し、数々の交流事業に携わった。しかし彼は1997年、60歳で亡くなった。多忙を極めた彼の舞踊人生を回顧する。</p>	
<p>若松美黄ゼミ 「耐える身体~エティカ(倫理)」</p>	<p>9月3日[金] 17:00~18:30</p>
<p>身体運動の不均衡を最小に押さえる努力が倫理でしょうか。そして、エティカ(倫理)を十分に把握しながら、一方で、不均衡に耐え、それと戦いながら生を継続~舞っていくのでしょうか。誰にも分かりやすい入り口は、中枢にあたる呼吸ですが、それが、身体の軸と融合することを目指していきたいものです。</p>	